

第3期生 29人への期待

訪問看護認定看護師教育課程修了式

3月28日(金)、青学会館(東京都渋谷区)で開催された訪問看護認定看護師教育課程修了式。これまでの1.5倍、29人の、困難をさまざまに乗り越えて学んできた修了生笑顔がまぶしい式となった。

この4月の診療報酬改定における評価のように、訪問看護によせられる期待に応え、「訪問看護の活性化を図るために先頭に立って活躍してほしい、生涯かけて自分を磨いていってほしい」との課程長である佐藤美穂子氏の式辞に始まり、「社会的な要請は強いにもかかわらず訪問看護師が増えていかない問題は、制度上の評価が低いからであり、訪問看護の実践を伝え、実践から事実を示して現状の打開へとつなげてほしい」と日本看護協会副会長の古橋美智子氏、「いつも訪問看護には関心があり、ステーションが増えていかないことに重い気持ちがある。ここを変えていくには法的根拠と政治力が必要。エビデンスを示して発言していかな



講師の渡辺裕子先生を囲み教室でのワンショット
(写真提供：日本訪問看護振興財団)

くては」と、財団設立時に日本看護協会会長を務め、現在は看護連盟会長の見藤隆子氏からも祝辞をいただいた。

修了生の1人ひとりから、「原点に戻って学びました」「苦しい半年間、皆に支えられここまでこれた」「修了式を迎えられ夢のようです」「大好きな訪問看護に生涯かけて携わっていききたい」「ここでの学びは私の財産」「訪問看護は元気でなければできない!」と、この日を迎えた喜びの謝辞が29人分続いた。職場の人たちや家族の応援があって実現できた6か月間の学生生活。濃い時間を共有したに違いない修了生を代表して米田照代さんは「根拠をもってケアできるとはどういうことなのかを学んだ。前途は容易なものではないが明日の訪問看護師として貢献していきたい」と述べた。今後認定のための審査を経て、合格すると晴れて訪問看護認定看護師となる。

3期生にはすでに認定看護師として活躍する35人の先輩たちがいる。さらに今年は、振興財団の4期生30名に加えて、聖路加看護大学看護実践開発センター(30名)と大分県立看護科学大学看護研究交流センター(15名)においても訪問看護認定看護師の課程が開講されることになった。順調に進めば、来年の認定審査後に訪問看護認定看護師は100人を超えることになる。この日修了された皆さんには訪問看護の質を高め、全国津々浦々で療養する多くの高齢者に訪問看護を届けてほしいと願っている。誌面でも折々にその活躍を紹介していきたい。

●問い合わせ先

日本訪問看護振興財団認定看護師教育課程係
Tel 03-5778-7008